

野菜の生育状況及び価格見通し(平成30年2月)について

農林水産省は、東京都中央卸売市場に出荷される野菜の生育状況及び価格見通し(平成30年2月)について、主産地等から聞き取りを行いましたので、その結果を公表します。

1. 概要

ここ数年、天候不順により野菜の価格変動が大きくなっている中で、野菜の生育状況や価格の見通しを情報発信するため、平成23年より、主産地、卸売会社、中間事業者等から聞き取りを行い、その結果を農林水産省ホームページに掲載しています。

今般、平成30年2月の野菜の生育状況及び価格見通しの聞き取り結果を次のとおり公表します。

なお、聞き取りを行った14品目の野菜の生育状況は、東京都中央卸売市場外において流通するものについても、同様の傾向です。

また、これまでの公表資料は、次のURL ページで公開しております。

http://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/yasai_zyukyu/

2. 現在の生育概況

(総論)

1月下旬の降雪や低温については、主産地等からの聞き取りによれば、収穫遅延による一時的な出荷の減少要因となったものの、今後の出荷数量や価格に大きな影響を与えるものではないと見込んでおります。

品目	現在の生育状況
根菜類 (だいこん及びにんじん)	だいこんは、10月中下旬の長雨や台風に伴う塩害、11月中旬以降の低温により生育が低下したため、平年よりも小ぶりとなっている。 にんじんは、10月の長雨及び日照不足により生育が低下したため、平年よりも小ぶりとなっている。
葉茎菜類 (はくさい、キャベツ等)	はくさいは、10月中下旬の長雨や11月中旬以降の低温により生育が低下したため、小玉傾向。 キャベツは、10月中下旬の長雨や台風に伴う風害、11月中旬以降の低温により生育が低下したため、小玉傾向。 ほうれんそうは、12月上旬以降の低温により小型傾向であるものの、生育は回復傾向。 ねぎの生育は平年並み。 レタスは、11月中旬以降の低温や11月下旬以降の少雨により生育が低下したため、小玉傾向であるものの、生育は回復傾向。
果菜類 (きゅうり、なす等)	生育は平年並み。

土物類 (ばれいしょ、さといも 及びたまねぎ)	ばれいしょの生育は平年並み。 さといも及びたまねぎは、貯蔵ものの出荷期間。
-------------------------------	------------------------------------------

3. 今後の生育、出荷及び価格見通し

(各論)

品目	主産地 ()書きは29年 2月の入荷 シェア	今後の生育及び出荷見通し	価格見通し (平年(直近5か年 平均)比)	
			2月前半	2月後半
だいこん	神奈川(60%) 千葉(31%)	<ul style="list-style-type: none"> 千葉県での10月の台風に伴う塩害や、神奈川県及び千葉県での10月中下旬の長雨、11月中旬以降の低温により生育が低下し、平年よりも小ぶりとなった。このため、1月の出荷数量は平年を大きく下回り、価格は平年を大きく上回って推移。 神奈川県及び千葉県において、生育及び出荷数量が回復傾向であり、かつ、10月中下旬の長雨以降に播種されたものの割合が次第に増加していくことから、2月前半の価格は平年を上回るものの、1月の水準からは徐々に回復していく見込み。 2月後半は、出荷数量、価格ともに平年並みに戻る見込み。 	高値水準ではあるが、1月の水準からは徐々に回復	平年並みに戻る
にんじん	千葉(71%)	<ul style="list-style-type: none"> 千葉県での10月の長雨及び日照不足により、生育が低下し、平年よりも小ぶりとなったため、1月の出荷数量は平年を下回り、価格は平年を上回って推移。また、出荷が前倒しとなり、ほ場に残っている量が平年よりも少ない。 千葉県において、ほ場に残っている量が平年よりも少ないことから、出荷数量が少ない状態が続くため、2月も価格は平年を上回る見込み。 	高値水準で推移	高値水準で推移

はくさい	茨城(67%)	<ul style="list-style-type: none"> 茨城県での10月中下旬の長雨や11月中旬以降の低温により生育が低下し、小玉傾向となったため、1月の出荷数量は平年を大きく下回り、価格は平年を大きく上回って推移。 また、出荷が前倒しとなり、ほ場に残っている量が平年よりも少ない。 茨城県において、<u>ほ場に残っている量が平年よりも少ないことから、出荷数量が少ない状態が続くため、2月も価格は平年を上回る見込み。</u> 	高値水準で推移	高値水準で推移
キャベツ	愛知(50%) 千葉(28%) 神奈川(16%)	<ul style="list-style-type: none"> 愛知県での10月中下旬の長雨や、千葉県での10月の台風に伴う風害に加えて、主産地での11月中旬以降の低温により生育が低下し、小玉傾向となったため、1月の出荷数量は平年を大きく下回り、価格は平年を大きく上回って推移。 千葉県での出荷数量が少ない状態が続くものの、<u>愛知県及び神奈川県での10月中下旬の長雨以降に定植されたものの割合が次第に増加していくことから、2月前半の価格は平年を上回るものの、1月の水準からは徐々に回復していく見込み。</u> 2月後半は、<u>出荷数量、価格ともに平年並みに戻る見込み。</u> 	高値水準ではあるが、1月の水準からは徐々に回復	平年並みに戻る
ほうれんそう	群馬(30%) 茨城(27%)	<ul style="list-style-type: none"> 群馬県及び茨城県において、12月上旬以降の低温により小型傾向となったため、1月の出荷数量は平年を下回り、価格は平年を上回って推移。 群馬県及び茨城県において、<u>生育及び出荷数量が回復傾向であるため、2月前半の価格は平年を上回るものの、1月の水準からは徐々に回復していく見込み。</u> 2月後半は、<u>出荷数量、価格ともに平年並みに戻る見込み。</u> 	高値水準ではあるが、1月の水準からは徐々に回復	平年並みに戻る

ねぎ	千葉(39%) 埼玉(23%) 茨城(12%)	<ul style="list-style-type: none"> 1月の出荷数量は平年並みであったが、気温の低下に伴い需要が増加したため、1月の価格は平年を上回って推移。 千葉県、埼玉県及び茨城県において、生育及び出荷数量が平年並みであり、また、1月よりも消費量が少ない時期であるため、2月の価格は平年並みに戻る見込み。 	平年並みに戻る	平年並みで推移
レタス	静岡(27%) 茨城(16%) 香川(16%)	<ul style="list-style-type: none"> 静岡県及び香川県での11月中旬以降の低温に加えて、11月下旬以降の少雨により生育が低下し、小玉傾向となったため、1月の出荷数量は平年を下回り、価格は平年を上回って推移。 香川県での出荷数量が少ない状態が続き、また、後続の産地である茨城県の生育が平年並みであるものの、静岡県での天候の回復により小玉傾向が解消され、2月出荷分の生育が平年を上回る見込みであるため、2月の出荷数量及び価格は総じて平年並みに戻る見込み。 	平年並みに戻る	平年並みで推移
きゅうり	宮崎(29%) 千葉(21%) 群馬(15%)	<ul style="list-style-type: none"> 宮崎県、千葉県及び群馬県において、生育が平年並みであるため、出荷数量、価格ともに平年並みで推移する見込み。 	平年並みで推移	平年並みで推移
なす	高知(63%) 福岡(16%)	<ul style="list-style-type: none"> 高知県及び福岡県において、生育が平年並みであるため、出荷数量、価格ともに平年並みで推移する見込み。 	平年並みで推移	平年並みで推移
トマト	熊本(36%) 栃木(21%) 愛知(12%)	<ul style="list-style-type: none"> 熊本県、栃木県及び愛知県において、生育が平年並みであるため、出荷数量、価格ともに平年並みで推移する見込み。 	平年並みで推移	平年並みで推移
ピーマン	宮崎(38%) 茨城(21%) 高知(17%)	<ul style="list-style-type: none"> 宮崎県、茨城県及び高知県において、生育が平年並みであるため、出荷数量、価格ともに平年並みで推移する見込み。 	平年並みで推移	平年並みで推移
ばれいしょ	北海道(71%) 鹿児島(23%)	<ul style="list-style-type: none"> 北海道産の在庫数量が平年並みであることに加えて、鹿児島県での生育が平年並みであるため、出荷数量、価格ともに平年並みで推移する見込み。 	平年並みで推移	平年並みで推移

さといも	埼玉(53%) 千葉(25%)	・ 埼玉県産及び千葉県産の在庫数量が <u>平年並み</u> であるため、 <u>出荷数量、価格ともに平年並み</u> で推移する見込み。	平年並み で推移	平年並み で推移
たまねぎ	北海道(83%)	・ 北海道産の在庫数量が平年並みであるため、 <u>出荷数量、価格ともに平年並み</u> で推移する見込み。	平年並み で推移	平年並み で推移

注：「平年並み」とは、平年との比率が80%以上、120%未満であることを示している。

<添付資料>

東京都中央卸売市場における指定野菜の価格の平年比

【お問合せ先】

生産局園芸作物課

担当者：児玉、坂田

代表：03-3502-8111（内線4822）

ダイヤルイン：03-3502-5961

FAX：03-3502-0889

(参考)

東京都中央卸売市場における指定野菜の価格の**平年比**

品 目	1月5日 (金)	6日 (土)	9日 (火)	10日 (水)	11日 (木)	12日 (金)	13日 (土)	15日 (月)	16日 (火)	18日 (木)	19日 (金)	20日 (土)	22日 (月)	23日 (火)	25日 (木)	26日 (金)	27日 (土)	29日 (月)
だいこん	252%	251%	256%	254%	322%	309%	303%	312%	286%	270%	262%	243%	202%	192%	195%	187%	185%	187%
にんじん	117%	115%	115%	114%	122%	121%	125%	132%	131%	134%	134%	134%	143%	148%	148%	149%	146%	156%
はくさい	193%	219%	237%	252%	253%	256%	242%	236%	239%	222%	194%	208%	216%	231%	260%	265%	263%	252%
キャベツ	223%	203%	247%	236%	232%	195%	187%	177%	179%	180%	177%	163%	165%	165%	158%	158%	159%	158%
ほうれんそう	200%	186%	156%	141%	157%	142%	135%	134%	133%	134%	137%	142%	136%	136%	140%	139%	136%	141%
ねぎ	151%	136%	111%	106%	135%	136%	132%	125%	126%	127%	119%	119%	126%	137%	148%	142%	139%	141%
レタス	215%	219%	208%	163%	179%	162%	149%	142%	129%	130%	131%	131%	119%	113%	107%	103%	100%	102%
きゅうり	103%	99%	96%	99%	102%	104%	110%	115%	115%	114%	114%	114%	116%	116%	115%	114%	112%	105%
なす	100%	98%	97%	102%	103%	107%	111%	108%	109%	108%	105%	105%	101%	101%	100%	101%	104%	107%
トマト	133%	123%	105%	104%	107%	105%	112%	102%	103%	94%	96%	95%	84%	85%	83%	81%	84%	79%
ピーマン	103%	106%	106%	111%	102%	100%	106%	113%	116%	118%	116%	115%	106%	105%	107%	107%	107%	108%
ばれいしょ	95%	90%	92%	91%	100%	96%	96%	98%	103%	103%	98%	94%	102%	102%	101%	102%	101%	94%
さといも	112%	99%	112%	104%	124%	127%	114%	105%	115%	120%	111%	111%	101%	116%	127%	125%	104%	122%
たまねぎ	106%	107%	111%	103%	95%	97%	110%	105%	97%	110%	98%	99%	110%	100%	104%	106%	109%	108%

資料：大臣官房統計部「青果物卸売市場調査日別調査」をもとに作成（東京都中央卸売市場のうち4市場の価格の平年比）。

注1：平年比とは、日別価格と過去5か年の旬別価格の平均値との比である。

注2：平年比が120%以上となっている日を赤セルとした。